







和名集并異名製辨記卷上

い



威靈仙一名は清うらがりの

移りては厚いゆえひめとせむん

らりてびりやよむは雄厚なりびよ

らんにんげんは柳葉はゆかりさ

ゆきとらぬかこのおとまは六七葉

くはのせむんはらり六かうひり

七さゆはよつもの七月のら

よんかよとちやうげんまじりさ

はわらひわるといふらあめり

やとめりてあわよくあつゆが

しゆきあめりあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて









露蜂房 へんくらのすねりま  
うべのこくありとて一なる蜂  
勝二名の百穿一名の蜂窠七月首  
よどりひびりありとてさびま  
ひつ。わづりそりら也

蘆薈 一名は訛會一名は奴會わ  
らひひわぐふがゆは倍呼て象膽  
とあぐく。巴豆ろぐくとげりめこ  
代茶よ没茶とて用ひわは秘事  
鹿茸 麋鹿茸とてとろくま  
のふはほのとて毛とてはとてと  
げとわづりら也

鹿陰 ともたら腎ありせいか  
みざらとあ  
漏蘆 一名は野蘭。山蘆よありは  
月と根ととりてびりあは生取草  
のせんどとて己のえより申りて  
まてひとすはんばりのちととら  
てとらとらめり也代茶よ味麻と  
りら也

鷲鷄草 鷲取草の事とては  
は  
巴戟天 二月は根ととりてびり  
あすらとてひんとありはびり  
馬牙消 石薬ありとてあつてふ  
麥門冬 日本せうがひげの孫らり  
一名は禹蔽一名は禹餘二三月は根と  
とりてびりなりとてあひえ  
とてあひえ。はとてとてわづら  
鐵気とてい  
馬鞭草 ともれぬあはゆるすら

馬鞭草 ともれぬあはゆるすら







三年にさうする。根は白く、皮は赤く、又赤く、さう  
やうなわけに、半皮の性、去ん、さう  
さう、結、いり、て、の、ら、め、ら、い、さう、な、何  
あ、け、ま、ひ、く、せ、い、を、あ、わ、り、り

**防己** 一名の解離。日本あ、く、は、て  
つ、ら、う、の、根、あり、二、八、月、に、根、と、れ  
び、が、い、あ、れ、ら、う、と、本、防、己、と、い、ふ、あ  
ら、い、ひ、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、

**茅根** 一名の蘭根。一名の茄根。名  
の地管。一名の地筋。一名の兼柱。日、り、ん  
あ、て、い、ら、る、の、根、あり、六、月、に、根、と、れ、  
ゆ、ま、に、一、夜、ひ、う、げ、と、い、り、あ、ら、い、ひ、う、う、

**馬蘭花** ひ、ろ、く、つ、ふ、い、め、た、い、り、て、つ、ふ  
**貝母** 一名の空草。一名の菜実。名、の  
若花。一名の苦菜。名、の、勒、母。十、月、に、根、と、  
と、く、い、ら、し、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、  
て、は、と、い、ひ、う、う、あ、ら、い、ひ、う、う、

云、は、い、ら、る、の、根、あり、二、八、月、に、根、と、れ、  
精、い、ら、る、の、根、あり、二、八、月、に、根、と、れ、  
と、く、い、ら、し、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、  
と、く、い、ら、し、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、

**梅花** ま、う、ま、く、梅、の、花、と、用、也、日、り、ん  
**巴豆** 一名の巴椒。と、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、  
ま、う、ま、く、梅、の、花、と、用、也、日、り、ん

**敗龜甲** 川、の、う、り、せ、い、や、斃  
甲、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、

**敗鼓皮** や、ま、く、う、う、の、皮、の、う、り、ん  
**芒硝** そ、の、う、り、は、い、ら、い、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、  
ま、う、ま、く、梅、の、花、と、用、也、日、り、ん

**薄荷** あ、ら、い、ひ、の、う、り、ん、香、の、い、ら、る、  
と、く、い、ら、し、う、う、と、い、ふ、あ、ら、い、ひ、う、う、



龍騰くつらんとおしちとつじ  
交新 ちじととちひひと  
あそとけは目きやびやわとわと  
てのふたとととととととととと  
防風 一名銅芸 一名苗草 一名  
百枝 一名屏風 一名商根 一名  
とり。二月十日に種ととりと  
子。うらぬ。さまる。ゆのふと  
ゆくととととととととととと  
ひさちとわつ

晚蓋我 ふうのたのひのひのひ

馬兜鈴 日本あつたの根と

白梅 ふうらひのふとふと

あめこはまびつらぬ

白扁豆 日本あつたの根と

班猫 八月はりてらりた

あつたのふとふとふとふと  
あつたのふとふとふとふと  
あつたのふとふとふとふと  
あつたのふとふとふとふと

に

人参 一名人術 一名鬼蓋 一名

神草 一名人微 一名大精 一名血参

あつたのふとふとふとふと

あつたのふとふとふとふと







よめくまび。血をあらう血とら  
ひらめはのりちとやうのんまて酒  
まかたののまひまひのら。

**牡蛎**

一名ハ蛎蛤。一名ハ牡蛤。日丸

に貝のからの事也。ちと中のま  
ちてはのりよのちくたのまといの事

**蓬破**

鵬破。たのちのま

**補骨脂**

一名ハ破故紙。こ胡韭

まろ。滋色あり。根がうらうらう  
ちかるとすうあうのら。

**北味**

五味子の事あり

**蜂窠**

ごあかの中いらのら

のら事也

一

**鼈甲**

うらうの甲のり。事のそとぬ

アキ子。アキの六をたうらうら  
ら。ゆめはのりちとやうのんま  
て。ちとやうのちとやうのら

**京脚**

ここのの事

**烏蓄**

日本ありあり。河原のら

まが。五月のら。げが。ち根  
ら。ちとやうのちとやうのら

と

**冬葵子**

あとのの事あり。のり

**菴絲子**

一名ハ菴廬。一名ハ菴縷。

名ハ唐蒙。一名ハ玉女。一名ハ赤綱。一名ハ

菴纍。日本あり。のら。のら。九  
月に。のら。のら。のら。

のら。のら。のら。のら。のら。



のうらたさうし粉ふかす

**五采** 穀の采よりちのうらたさ

あつちの事なりまじふとくはやく  
丹云のこわくふり

**獨活** 一名、羌活、一名、護羌使

春、一名、胡王使者、一名、獨活草、日本

一の根ありくまのこりの黄のうらたさ

こいふゆりいほちと獨活のうらたさ

なるにちりよふふとくはやく。卷活のうらたさ

八月、和、こいふゆりいほちと獨活のうらたさ

あつち。日にちりいほちと獨活のうらたさ

**杜仲** 一名、思仲、一名、木綿、日本

まのうらたさ、まのうらたさ、まのうらたさ

まのうらたさ、まのうらたさ、まのうらたさ

まのうらたさ、まのうらたさ、まのうらたさ

あつち、まのうらたさ、まのうらたさ

**兔頭骨** うらたさのうらたさのうらたさ

土月、まのうらたさ、まのうらたさ

**鬼腦髓** うらたさのうらたさのうらたさ

ていげり、まのうらたさ、まのうらたさ

**土硫** うらたさのうらたさのうらたさ

とけい、まのうらたさ、まのうらたさ

とけい、まのうらたさ、まのうらたさ

のうらたさ、まのうらたさ、まのうらたさ

**桐油** まりの実のうらたさのうらたさ

**杜若** 服薬の事なり

**銅青** 銅緑青、まのうらたさ、まのうらたさ

あつち、まのうらたさ、まのうらたさ

**豚卵** 一名、豚卵、いのちのうらたさ

まの事なり、豚蹄、いのちのうらたさ

①

**丁香皮** 二月、まのうらたさ、まのうらたさ











穢のこもあせり人の醫薬にふま  
びよりたつしちりくせり

①

**龍膽**

つらのこいしちりくせり  
され白くあせりしちりくせり  
孫のこいしちりくせり  
よ孫のこいしちりくせり  
へあせりしちりくせり  
の身はくせり  
又果の醋に  
ちちたれくせり

**龍齒**

まはひしちりくせり

**龍腦**

梅にちりくせり

**良香**

日本参州の澤中ちりくせり

らりくせり  
ふちりくせり  
縮れり  
ちりくせり  
本草は高良香  
の毒  
りりくせり

**菝葜**

一名の葱薺 一名葱薺  
三月に根とり  
みわちりくせり  
つちりくせり  
ちりくせり







黄耆 一名戴糝 一名戴提 一名

艾草 一名蜀脂 一名百本 和名

やう草 和名 二月十月より

てげり 和名 芦頭 和名 二月十月より

上焦 和名 胃と調ゆる 和名 二月十月より

ひく 和名 脾胃と調ゆる 和名 二月十月より

ひく 和名 脾胃と調ゆる 和名 二月十月より

月 和名 脾胃と調ゆる 和名 二月十月より

又 和名 脾胃と調ゆる 和名 二月十月より

黄芩 一名内屈 一名黄文 一名

經本 一名 和名 三月三

日 和名 三月三

又 和名 三月三

尾 和名 三月三

わが 和名 三月三

黄連 一名王連 日本 和名

和名 王連 日本 和名

黄柏 一名 和名 檀植 日

黄丹 一名 和名 金華 和名

黄精 一名重樓 一名 和名







和名南麻とあつて日本あつたり。和名  
さしほら。うちひくささうと。二八月は  
根と搥くしりし。その製法は。さ  
さうのちぎとくわらひ。うすくま  
さう。ゆ水と。たがひ。うすくま  
は。たがひ。ゆ。ふ。た。う。す。く。ま。

香附子 莎草根と云。一名高蒿。一名  
藜。一名雀頭香。日本あつたり。和名  
みらり。又。ちり。さ。い。し。ふ。二八月は  
雷公。う。し。と。う。そ。う。り。く。げ。り。し。  
さ。く。ち。の。中。に。さ。う。り。く。げ。り。し。  
か。ら。い。事。あ。り。し。今。常。に。せ。ら。る。り。う。と。  
也。と。げ。り。さ。う。り。く。げ。り。し。う。す。く。ま。と。依  
り。し。ら。し。也。

何首烏 一名野苗。一名陳知白。り  
の製法論は。い。く。春。交。ま。り。り。竹。刀  
と。み。く。さ。う。り。米。の。ま。ら。に。ひ。ら。い。事。

一葉と依りて。さ。う。り。く。げ。り。し。う。す。く。ま。  
と。た。が。ひ。の。蒸。あ。ら。り。の。り。く。草。有。護。の。と  
赤。白。二。條。の。り。赤。雄。白。雌。の。り。用  
は。さ。う。り。の。本。の。中。あ。り。つ。ま。さ。う。り。く。げ。り。し。  
さ。う。り。は。さ。う。り。の。り。く。日本。あ。り。入。山。の  
あ。り。く。ま。ら。い。わ。り。和。名。さ。う。り。の。り。の。り。と  
さ。う。り。の。り。と。う。す。く。ま。と。た。が。ひ。の。り。根。丸  
と。う。す。く。ま。と。た。が。ひ。の。り。の。り。の。り。と。う。す。く。ま。  
と。う。す。く。ま。と。た。が。ひ。の。り。の。り。の。り。と。う。す。く。ま。

香蒲 めく彼の事あり  
合歡 一名合歡樹。一名忘憂。一名は  
夜合。和名。ゆふの木の皮。なり。と。な。は。う。り。く。  
す。う。り。の。り。と。う。す。く。ま。と。た。が。ひ。の。り。の。り。と。う。す。く。ま。  
夏枯草 和名。あ。ん。ご。う。り。く。さ。う。り。の。り。の。り。と。う。す。く。ま。  
海桐皮 和名。あ。ら。ま。ら。い。の。り。く。さ。う。り。の。り。の。り。と。う。す。く。ま。







...の...  
...

**藁本**

和名...  
...

**香薷**

日本...  
...

**甘遂**

一名...  
...

**乾漆**

...

**海帶**

...

**皮桂**

...

**海藻**

...

**荷葉**

...



皂車

古草と云りつらめきして

海洋

三つづりの事(和名)は

我木

蓬莪木と云りつらめきして

(よ)

和名

薏苡仁

一名ハ解蓋一名ハ屋蓋一名ハ

越實

一名ハ藪一名ハ和名(和名)は

實の

多くすつらめきして

頭

と云りつらめきして

り

つらめきして

預知子

と云りつらめきして

た

と云りつらめきして

丹参

一名ハ却蟬草一名ハ赤参一名

大薊

小けいこに一種なり大けいこ

大戟

一名ハ功鉅澤漆の根(和名)は

澤漆

一名ハ澤葦大戟乃苗(三月

七月)

本ゆて(和名)の事(和名)は

後

は(和名)の事(和名)は

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして

あり

つらめきして



當歸 一名乾歸 一名山藟 日本は  
ていつらの國乃當歸と云ふは蘇州の  
當歸の根と和名ありせりやませりまぬ  
せりまじりて二月に根を採るべし  
あはゆるはひくくまきと云ふ人言を  
まてまてははりりあつてまひひ  
あづりりちかきなり

桃花石 俗の一の事なり

澤瀉 一名水瀉 一名及没 一名芒  
草 一名鵝溲 和名と云ふは蘇州の  
六月に根をとりてげりあつらけを  
あひ毛と別るは日にかまはるなり  
田のふけはひくくまきと云ふ人言なり

桃仁 一の事なり 七月  
よらあづりてゆひくはまじりたり  
とらあづりてゆひくはまじりたり

鑞墨 一の事なり

桃花 一の事なり 三月三日にげり  
桃兒 一名桃奴 一名臭景 桃の  
くまじりてはまじりてはまじり

桃膠 一の事なり

澤瀉 一名八布藟 一名龍葉 一名  
鹿蒲 和名と云ふは蘇州の  
三月三日にげり

大棗 一名乾棗 一名煖東 一名  
良棗 和名ありの事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり

代赭石 一名血師 一の事なり

大黃 一名將軍 一名黃良 日本は  
三月に根を採るはまじり



わく 雞冠のてう 函水さりのきん  
疑結とく石のてうためりし果め  
府にありあり 懸法は細にさる  
木ぬくまはうねとらてぶし

玳瑁 やうりもさうしんしん

大角巨 さげの事あり

大腹子 日本やけ 椀柳ころたが

とひらうとさうあふさうさう  
圖經のてう 大腹とびんらさあひあり  
但らたおお拍さうが異く 陶弘景のてう  
陽のひふとびんらさうしんしん

大腹子とさうあふさうさう

大腹皮 とかまら 大腹子のてう

忘つらわくさうさう 白木は二葉ひさう  
わひひく生ぬる大豆とさうさう  
あにさうさうさうのさうた二葉ひさう

そのさうさうさうさうさうさう  
さうあふさうさうさうさうさうさう  
そのらさうさうの真けあさうさう 細  
ほあさうさう

猫肉 和名まみさうさうさうさう  
さうさうさうさう 狸さうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさう

大豆黄卷 さうさうさうさうさうさう  
おさうさうさうさうさうさうさう

糯米 さうの米のさうさう

蓮葉 さうさうさうさうさうさう  
さうのさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさう

蓮華 さうさうさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう

蓮肉 さうのさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさう



蓮房

くらの実のなげらひ

蓮翹

一名ハ異翹一名ハ蘭花一名ハ

折根一名ハ軒一名ハ三廉六山の山に生

次月よりてびりあふまうつふと

いじ和名とらちせとらち

羚羊角 麋の解りあめく

ろ

續隨子 一名ハ拒各一名ハ金子

ハ箱入の上板とみくともあめく皮脱

とありまるとありまるとありまると

鼠尾草 和名みそぐの草

續断 一名ハ竜豆一名ハ属折一名ハ

接骨 一名ハ軟草一名ハ枕 和名とせ

とみり 俗よとみりといふ

七六月にけりけり洗ひ

側柏子 側柏に柏子にみか

日本よりくの実とけふ

側柏葉 即ちあり

蕪香油 常に入

とくありあめく

蒸と合せ

ゆりらと入

中く

酢漿草 一名ハ鳩酸草

醋母草 和名

そりて



葱ネギ 葱ネギの葉なり  
葱ネギ白 葱ネギの根なり

① 通草 一名附子支一名合通草  
通草トウソウ和名附子の根のすなりと  
と通草といひ根よりたれとと木通と  
いふは同一なりとありては通草なり

②

藍葉 藍の葉なり是なりと  
藍玉 藍の玉なり是なりと  
雷丸 一名雷夫一名雷實唐  
の根なり竹の根なり唐本

貝母バイモ 貝母の根なり唐本  
雷公ライコウ 雷公の根なり唐本  
甘草カンサウ 甘草の根なり唐本  
甘草カンサウ 甘草の根なり唐本  
未のミ 未の根なり唐本  
ゆユ ゆの根なり唐本  
丸ワ 丸の根なり唐本  
りリ りの根なり唐本

根毒 一名續毒唐より  
又二名は高陸及犬黄  
何れも根の皮なり  
あつ肉也一月に一回











るの葉なり九月に花を結ぶこと  
さくはれりしけしすくすくあつる赤  
てのりもてりしす

**豐麥** 一名巨句麥。大藪。大蘭  
和名うらめづし。の葉なり。葉殼と用  
くは葉とけりしす。すすむるは  
實けしものもりしす

**苦參** 一名水槐。苦蕒。地槐。  
菟槐。驕槐。白莖。鹿麻。岑莖。  
棟白。陵郎。和名くら。まのりす。  
三月と八月に根とまりしす。しすは  
くはしとけりしす。れりしす。一葉しす

まのりしす。つづ鐵とつじ  
**款冬花** 一名の索吾。顆凍。鹿鬚。  
鹿鬚。氏。和名うたのこ。まのりしす  
くはつりしす。れりしす。まのりしす  
り。あまのりしす。れりしす。まのりしす

れりしす。まのりしす。れりしす。まのりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
のちのちんところんところんところんところん  
あまのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

**貫衆** 一名貫節。貫衆。百頭  
鹿茸。扁府。伯洋。藥藻。和名  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

二月。終とまりしす。れりしす。まのりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす  
まのりしす。れりしす。まのりしす。れりしす

**軍姜** 古根あり



宮桂 肉桂の異名あり本草に  
 肉桂と云ふは木の皮を剥ぎて  
 干したるものなり其の皮を剥  
 ぎて干したるものを肉桂と云  
 ふ其の皮を剥ぎて干したる  
 ものを桂皮と云ふ其の皮を  
 剥ぎて干したるものを桂枝  
 と云ふ其の皮を剥ぎて干し  
 たるものを桂葉と云ふ其の  
 皮を剥ぎて干したるものを  
 桂膠と云ふ其の皮を剥ぎて  
 干したるものを桂花と云ふ

蕪荳

蕪荳母 蕪荳の根

八月

藕節

藕の根のうづまり

藕汁

藕の根の汁を絞り

藕皮

藕の根の皮を剥ぎ

藕實

藕の實を絞り即ち

瓜蒂

瓜の蒂を絞り

槐實

和名多んどの木の實を絞り

七月七日はらりて皮とすりしりて本草

八月十日の日にしりて本草

服せし百病を治す長生神薬也

槐枝

槐の木の皮を剥ぎ

槐木皮

槐の木の皮を剥ぎ

槐根皮

槐の根の皮を剥ぎ

槐葉

槐の木の葉を絞り

槐膠

槐の木の皮を剥ぎ

槐花

槐の花を絞り

枸杞

名は杞根。名は地骨。名は

却暑。名は仙人杖。名は西王母杖。圖經

に云く正月はらりて皮とすりしりて本草

八月十日の日にしりて本草

八月十日の日にしりて本草

八月十日の日にしりて本草

八月十日の日にしりて本草



のこらちをふくばはじくらぬたの  
まの拘杞ありその葉のこらぬ  
ちくばは棘ありものと拘棘とさう  
こま根の皮とさうまら地骨皮と  
の根皮とさうまら守みく根皮と  
さうまらまらさうまらまらあさ  
さうまらけりあは

**薰陸香**

あらぬあつちゅうつら  
さうまらまらまらまらまら

**薑薈**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**花囊石**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**物脊**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**苦棟根皮**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**苦棟子**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**萱草**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**瓦粉**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**蝸牛**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**滑海藻**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**滑石**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら

**番石**

まらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまら



まはしりてけり水も似てくさくさわを  
あつしの油ねりこまはくはくはくはく  
くさくさ雷公のくさくさくさくさくさ  
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ  
くさくさくさくさくさくさくさくさくさ

敷類

和名集上巻七終

和名集并異名製劑記卷下

や

**益母草** 和名あしはら 異名い  
花蔚子のきりし注次。五月五日にあり  
てびげりあしはら 銅鐵といひ本の  
やげんあしはら 又いひはりしめこ  
あつりしりらあしはら 又いひはらや  
あしはら 又いひはら 血暈に童便あし  
りらあしはら

**益智子** 唐よりきりしはらりてくさくさ  
さのくさくさくさくさくさくさくさくさ  
のくさくさくさくさくさくさくさくさ

**楊梅** 和名やまのりの事ねり

五月よりあり

**射干** 一名ハ鳥麻。鳥蒲。鳥翠

鳥吹。草萎。和名くさくさくさくさ















とつひ

胡黄連 一名ハ割派日本あぐりハたり  
やとるものもあぐりハたり  
ら七月ハ花さく八月ハ花のりその  
まはる唐よりさく派の根あり  
地黄のこくろあぐりハあり

虎杖根 一名ハ若杖日本あぐりハたり  
の根あり別經曰虎杖一名ハ枯杖と云  
今處々にあぐり三月に苗さくとし生  
るはけのこのさくあぐりハ赤  
班の張ありさくあぐりハ赤  
あぐりハ赤あぐりハ赤の根あり  
七月ハ花さく九月ハ実さく  
八月ハ根さくハあり

葫蘆巴 圖經曰春さくとし生る  
はさくハさくあぐりハあり  
てさくハありハあり

胡桃實

くまみの事

呉茱萸 一名ハ蕪。日本あぐりあり九月  
九日ハ花さくハありあぐりハあり  
よそのもの湯に入るとあぐりハあり  
とさくハありハありハあり  
つ雷公傳ハありハありハあり  
あぐりハありハありハありハあり  
奉石ありハありハありハありハあり  
二ありハありハありハありハあり  
わくハありハありハありハあり

穀精草

二三月に穀と田の事

あぐりハありハありハありハあり  
日華子ありハありハありハありハあり  
經曰今處々にあぐりハありハありハあり  
ハありハありハありハありハあり  
ありハありハありハありハありハあり











細きもの葉はけりてはてははるかに  
折翫するは草一日はくばらる

紅藍花一名黄藍日本やれ草花

日本のはたのこもの事しりたりも  
又生あてし用ひたり実いらしては  
ふんごの甲州燗湯は用ゆるがたり

紅糟へたの事なり

牛房子長草粘子本か子の事なり

黒糸玄糸の事なり

黒衣うしろ衣の事なり

黒錫くろなまりの事なり

て

天門冬天門冬 夏顛勒日本やれ草

の根ありて草やれはみかたれと  
てんもんどう天門冬

はたのこもの事しりたりも  
又生あてし用ひたり実いらしては  
ふんごの甲州燗湯は用ゆるがたり

月根つきねとていふは

てんもんどう天門冬

蕨わづ 羊角やうかく

ちちのこもの事しりたりも  
又生あてし用ひたり実いらしては  
ふんごの甲州燗湯は用ゆるがたり

草薺くさざい 一名草薺草薺

名大窪名大適日本とていふは

実の事なり平澤及び田野とていふは

生れ草薺の根実とていふは

子とていふは

は相やりていふは

しつとていふは

そのひとは搗て形を紙とていふは











蒼耳

日本より出たりこの葉は

実とほつちあがりうすく用也

蠶布

ふとく耐長きと云ふ

の半にわたりてと云ふ

犀角

よりして入るに八方より入る

ゆゑあつた別の節をまぶして為犀角

と云ふと云ふと云ふと云ふ

酸榴皮

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

紫胡

一名ハ山菜。茹草葉。雲

野日本より出たりと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

酸漿草

順の和名はつと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふ



く赤つらふと云ふ

山菜薹 一名六蜀菜。雞足。魁實

まきとありあかりて蜀代菜に日本の

うららふとありてあつめのくむく

後の伸の實と云つてはくはくはく

草烏頭 炮して皮と云つてくはく

細辛 一名小辛日本にありてくはく

たのみのくはくはくくはくくはく

らしたるあり根一本より二本の葉

出たりあり葉のくはくはくはくはく

六月は根と云つてげりあはくはく

わくはく頭とあり白水は一葉ひく

まきとあり

製法は白木の下まき

山藥 日本ふくふくの事あり

冬月よりひくはくはくはくはく

うに薯蕷の下に云ふ

山相肉 唐よりくはくはくはくはく

陽まひくはくはくはくはくはく

山葵子 唐よりくはくはくはくはく

琴丸 唐よりくはくはくはくはく

草豆寇 唐よりくはくはくはくはく

皮あはく中の實は油炒りてくはくはく

色りくはくはくはくはくはく

京三椏 一名六削堅中刺。日本まきの

おめり根と云つてくはくはくはくはく

醋あはくはくはくはくはくはく

金沸草 せんふくの事あり

き

山葵











硫黄 日本あり 日本あり 日本あり

め

明礬 白臭臭いものなり 日本あり 日本あり

日本あり 厚国を 日本あり 厚国を 日本あり 厚国を

綿附 日本あり 日本あり 日本あり

み

蜜 製法は 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

蜜陀僧 日本あり 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

し

磁石 一名玄石 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり

紫石英 赤白紫色の三種あり 日本あり

日本あり 日本あり 日本あり 日本あり



くあらあ

**赤石脂** 日本ありて京府佐三國小

あつらわりたり酢うひうやまてつふ

**辰砂** 本名朱砂るれ辰砂が

名朱砂はあつらつ辰の字とあ

うり辰砂はあつらつ辰の字とあ

口にりやびとらつ辰の字とあ

とあやまて朱砂の代は辰の字とあ

**信石** 人言書石相のすこ

**秋石** 小便所の小便のこころら

とらつ辰の字とあ

**青木香** 山ろに野にたりけら

天做麻とつあちとつ

**赤芍薬** 一名餘客一名摯食一名

解翁和漢とあ山平にありあ

ひのあともあつらつ辰の字とあ

辰の二月の辰とらつ辰の字とあ

とらつ辰の字とあ

りあがり用酒決とつ

**紫参** 名杜蒙一名衆戎一名

八童勝一名馬行和名らつ辰の字とあ

音根とらつ辰の字とあ

**蛇胆** 日本ありて京府佐三國小

**蛇床子** 一名蛇粟一名蛇床一名

一名思益一名繩毒一名東棘一

名蓋藤和名ひらひらの実あつら

とらつ辰の字とあ

とらつ辰の字とあ

とらつ辰の字とあ

とらつ辰の字とあ



使君子

木ハ四君ノ書今ハ使君子ト  
云ハトナリトシテハ其ノ根也ト云フ

車前子

一名ハ富道一名ハ車前一名ハ  
蝦蟆衣一名ハ牛遺一名ハ勝馬和名ト

云ハノ草也実ハ七月八月ヨリテ思ハ  
クノマツ月也云々云々トシテハ

薺子

一名ハ旁通一名ハ扁人一名ハ  
土行一名ハ神物一名ハ牛推一名ハ茨智

一名ハノ葉也云々トシテハ

紫菀

和漢ト云ク一名ハ桂荏一名ハ  
水壯元氣一名ハ六月ヨリテ思ハク

辛夷仁

一名ハ辛夷一名ハ候桃一名ハ  
房木和名云々ノ木也実ハク

月ニ云ク山ノ下ニ生ク雷公ト云ク

一名ハ并ハクノ赤肉ト云ク

一名ハ出ハク又漿ト云ク

一名ハ已ハク未ハク

一名ハ月也ト云ク

一名ハ真蕪油

一名ハ紫菀

一名ハ紫菀

一名ハ紫菀

一名ハ紫菀



の麻の葉を煮たの汁を煮る

**高陸** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく  
赤く白く茶性よありあれた腫れ  
と清く白く水気と利す

**紫檀** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく

**麝香** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく  
赤く白く茶性よありあれた腫れ  
と清く白く水気と利す

**縮砂** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく

**常山** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく

**蜀漆** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく

**葛蒲** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく  
赤く白く茶性よありあれた腫れ  
と清く白く水気と利す

**薯蕷** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく  
赤く白く茶性よありあれた腫れ  
と清く白く水気と利す

**薯蕷** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく  
赤く白く茶性よありあれた腫れ  
と清く白く水気と利す

**薯蕷** 和名山豆根 八月は根と丸

くちぎりとわしひしちとわつらふらふく



神麩 六月六日にむすぶの粉とよ  
りみのりつけやくしてちりちりいぼ  
りて麩とありしりく妙用ありて大  
唐の飯はちりちりて粉あり  
のこまふくじのこまにびらの中あり  
ふりて用ゆるとあり

脂麻清油

じぬのあぶら

靛皮

一名六重皮みんのあぶら

とよみ梅く宮あまのちのこまを  
とありしりちりちり

樟腦

和漢とよみ水邊に生れ

かきよのまろ根よたまにこまありて  
ありとよみちりちりちりちりちり  
けいりちりのれ香るすばぶ樟腦と  
ていりて入又のよまそりちりちり  
合せりてちりちりちりちりちり

とよみちりちりちりちりちりちり  
とよみちりちりちりちりちりちり

奏丸

和名とよみちりちりちりちり

三月は根とちりちりちりちりちり  
とよみちりちりちりちりちりちり  
秘用ありとよみ奏丸とよみ八代薬に乾  
草とちりちりちりちり

紫草

一名八紫丹一名八紫黄

の根あり三月は根とちりちりちりちり  
とよみちりちりちりちりちりちり

紫苔

とよみちりちりちりちりちり

紫菜

ひきまれのりちりちり

奏皮

一名八石檀一名八石皮和名

とよみちりちりちりちりちりちり  
とよみちりちりちりちりちりちり  
てあまちりちりちりちりちりちり

秦椒

秦州よりちりちり蜀椒八蜀国







棘一名ハ半軟一名ハ蕃薑藤一名ハ山棘ハ  
九月ふりてくけりやんらふくまき  
今蕃薑多りゆ布といく黄毛と  
のふらてえぬんたも漿水と用  
ひふりてひす事一宿たて日ばり  
月の和名やん實はたぐれやん  
**鹽花** ちりやんあめくひあゆ  
やんけやんあめ

①

**檳榔子** 中のふりうとをんてま  
ふりてくけりやんらふくまき  
まきもけやんあめ  
**白檀香** 唐よりまきゆのまき  
まきゆのまき  
**白及** 一名ハ甘根一名ハ連及草  
和名くまら

**枇杷葉** ひのきの葉のうらま  
一葉のうらまあわつて四月ま  
あめのもつて毛もあひまき  
あめのもつて甘草湯ふく洗ふ  
ゆのうらまを酢とありてあがり  
くまら又は毛根とまらて  
のまらあめゆのまらゆ  
**車蓋茄** 陽ふくまのと胡椒と  
あめゆのまらとひまきゆのまら  
胡椒の條下はあめゆのまら  
まらゆのまらゆのまらゆのまら  
あめゆのまらゆのまらゆのまら  
あめゆのまらゆのまらゆのまら  
**白豆蔻** まらゆのまらゆのまら  
**百合** 一名ハ重箱一名ハ麻羅  
名ハ連花一名ハ強聖和名ゆりあ  
あめゆのまらゆのまらゆのまら



きくこますすありにりちのりす  
二月の根と採りてさらしうろろ  
とらしてさあじ

**百草霜** 九月昔にうろろのきと  
研ぎてさらしうろろを死するまで

**白木** 一名山薊。一名山薑。一名

山連。一名山芥。一名天蘇。一名山  
精。一名乞力伽。和名とけり三三九

月に搗くありしうろろ。蒼木の條下

みよろす。白木と蒼木と二種あり

製法。葉の汁は一日事。葉は三日

要。二日冬。四日毎日。あそく。味あり

うのそらにまことけり。さらしてさあじ

ははりありりりり

**菟麻子** 和名たうまらうしん。実

のうらまき。うらまきははらう。製法。くわ

湯と見。煮和し。上皮とあり。実と

ちり。研て。粉の。葉は。ひつ。き。て。脚氣

風腫。あ。く。不。仁。あ。る。え。を。と。り。け。り

**白菱花** 白あひの花。世に。あ。ら。う。あ。が。り

**白高白子** たら。と。は。葉。の。う。ら。あ。が。り。て。あ。か

**草薢** 日本。あ。く。い。と。に。さ。は。の。う

あり。その。あ。ら。う。り。根。は。黄。あ。ら。う。あ

あり。その。あ。ら。う。り。根。は。黄。あ。ら。う。あ

あり。その。あ。ら。う。り。根。は。黄。あ。ら。う。あ

あり。その。あ。ら。う。り。根。は。黄。あ。ら。う。あ

**草薢** 酢。三。葉。ひ。う。あ。り。り

う。一。葉。よ。ち。と。り。じ。の。あ。ら。う。り。り

香。取。り。に。合。す。け。り。り。り。り















その実のとうりゆへに地権とてく  
下濕の地に生けり五月に花のつが  
のたさ葵子のとうり子もふくまひし  
千歳藥 一名の藥蕪和名あやひ  
とにけりとうりゆへに地権とてく  
さくおんまきい生けり圖經曰五月に花  
むくも七月に實と生けり八月にりあを  
くまふりとうりゆへに地権とてく

石龍蕪 一名の龍鬚一名の草續斷一  
名の龍珠一名の龍花一名の懸堯一名の  
草毒和名さのひげさのひさし五七  
月より花とてさうりゆへに

青代黒 龍花よとてさうりゆへに  
のよせあつがのうは深てあるあを  
とうりゆへに

青箱子 一名の草高一名の薑高和名  
さまふりあぬさの三月に花とてさうり  
ゆへに

寸

水銀 一名の汞和名さうりゆへに  
わくハ伊勢國より

水銀粉 一名の汞粉一名の輕粉一名の  
硝粉和名さのひさし

水雲 和名りつゆの草

水蓼 和名りつゆの草  
ゆくらたわく蛇まこし心同とて  
つらとてさうりゆへに

水花 一名の水花一名の水白一名の水  
蘇池澤のうは深く生けり草かり

てははりとうりゆへに補遺

金石部



滑石 一名芒硝 一名芒硝 一名芒硝 一名芒硝

一名芒硝 一名芒硝 一名芒硝 一名芒硝

芒硝 製法は... 日本...

陽起石 一名白石 一名石生 一名...

起石 一名の根なり

天台石 一名麻石 一名の...

礪石 一名の...

會青 一名の...

風化石 一名の...

伏龍肝 一名の...

鐵漿 一名の...

朴硝 一名硝石 一名有鹹水湯...

一名の國... 一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...

一名の...



たかひ川澤に生け五月まで

淫羊藿 一名剛前和名羊藿のりご

白薇 一名白幕一名薇草一名

春草一名骨美和名ろろのこ

三月三月の根とろりてひびきなり

草龍膽 一名陵瀝日本わいりん

ろりてひびきなり六月十二月の根と

ひびきなり初乃わくまげと用ひ

白龍膽 一名のひびきなり

一名青苔ありありあり

一名連銭草和名つるぎ

八九月よきと

芋根 和名ろりひの根

薺花 和名ろりあき六月よきと

敗蒲席 ちんちんひのり

粉草 中草のちんちんひ

地菘 和名ろりあひひ

鹿藿 和名ろりろろの草のちんちん

白慈草 和名ろりろろの草のちんちん

中葉根 和名ろりろろの根なり

一名董草一名の根和名

田野に生け春冬に生け

秋冬に生け根とろりて

あきろろの根とろりて

あきろろの草

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり

あきろろの草なり



海菫

ふりのの

昨葉草

名ハ瓦松和名わたり

堂上屋上生るるあまの生を

かひのころを

敗船

ふのの

船底苔

ふのの

醍醐汁

いらの

赤公草

名ハ構釋草和名たん

り五月

あ

故魚網

ふに

五加皮

名ハ我漆一名我節一名花

魁和名ぐぐの根の

ては

棘刺花

ふのの

柳花

あ

白楊

あ

水揚

あ

黄柳

あ

靈天蓋

あ

頭垢

あ

鬘髮

あ

鳥獸部

あ

穢猪

あ

羊脂骨

あ

醋

あ

白膠

一名鹿角膠鹿の皮

者

あ

雞脂

あ

白鳩

あ

木鳥

あ

木鳥

あ











此和名集并異名製衣劑記之極本  
近代往々雖在之其誤敏亦多也故  
今改字證平假名直令刷板予尤  
可爲正本者也  
寛文十二歲  
亥丑月吉日

和名下卷終

松會開板





